

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 29年 2月 6日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470103452		
法人名	有限会社 美泉		
事業所名	グループホームよってきんさい矢賀		
所在地	732-0042 広島市東区矢賀6丁目4番34号 082-510-5088		
自己評価作成日	平成28年12月20日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigyosyoCd=3470103452-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成29年2月3日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>新築2年目の2ユニットのグループホームです。近くの新幹線車庫の道沿いに桜並木があり、春には毎日花見が楽しめます。お散歩に出かけたり、一緒に食事作りや洗濯畳など行い、その方のできる事を続けられるように、日々関わっています。地域の方々に教えて頂きながら、グループホームの畑で野菜作りをしています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>新幹線車庫の傍らにある桜並木の堤は、春には花を愛でる散歩コースとして、地域に親しまれている。利用者や職員にも、その堤が馴染みの場所となった当事業所は開設二年を迎えた。全体がバリアフリーで、広いリビング他には明るさの調節が出来るLED照明や、二階にはリフト浴など、最新の設備を導入し、利用者に快適な生活環境を提供している。利用者の健康面や味を大切に汁の取り方や、食事を共に楽しめる工夫に加え、季節の町内会行事にも積極的に参加し、地域との交流の輪を広げている。リビングにつながるテラスや庭では、利用者と共に花や野菜を育て、外気浴や気分転換の場所として、地域の人たちも訪れる憩いのスペースとなっている。利用者と職員と一緒に楽しむ催しを企画し、温かみのあるグループホームづくりに、日々尽力している事業所である。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	美泉開設時よりの運営理念があり、朝の申し送り時には唱和し共有している。毎年、新年互礼会で理念を基に、各事業所で目標を掲げ取り組んでいる。	運営理念や信条をもとに、毎年、事業所目標を掲げ、朝の申し送り時に唱和し、職員間で共有している。短期目標として、利用者やスタッフが過ごしやすい環境整備を行い、長期目標としては、利用者一人ひとりに合わせたサービスの提供など、日々のケアに活かし、振り返りも行いながら取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会の清掃や行事等に参加している。グループホームの庭の野菜作りを町内の方から教わり、利用者様と一緒にやっている。	開設二年目になり、町内清掃や季節の行事にも積極的に参加し、秋祭りでは神輿を利用者が共に担ぐなど、地域との交流をさらに深めている。グランドゴルフ参加の誘いを受けたり、安全パトロールの方が今回の運営推進会議に参加するなど、今後は地域団体への更なるアプローチも含め、交流の輪をより広めようと考えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議や町内行事などで、相談や質問を受け、認知症の方への対応などを話す機会を持っている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は2か月に1度行っている。グループホームの行事や現状報告を行い、地域の方や地域包括支援センターの方との意見交換を行っている。	隔月開催の当会議には、利用者、地域住民代表、民生委員、地域包括支援センター職員などの参加を得て意見交換がなされ、支援の向上を図っている。今後は、家族ほか多方面へ参加の呼び掛けを行い、より多くの意見・要望が得られるように努め、運営やサービスの改善に活かせる取組みを検討している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域包括支援センターから会議へ参加いただき、事業所の活動や状況を伝え、地域の情報を頂いている。	民生委員や地域住民と共に、当事業所の庭で野菜の苗植えを行ったり、地域包括支援センター職員とオレンジプランに関する情報交換や、地域包括支援センター作成の安心マップについての報告ほか、相談や研修案内など、日頃から密なかかわりを継続している。一階リビングを勉強会のスペースとして提供する意向もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	マニュアルを作成し、身体拘束をしないケアを正しく理解している。日中の玄関は鍵をかけず解放し、ベット柵は必要以上しないように取り組んでいる。	定期的な研修はもとより、普段から見守りによるケアに努め、なるべく制約を加えない支援を心がけ、職員間で意識を高めている。マニュアルをもとに、特に新人研修では個々のケースについてなど丁寧に行い、日々のケアに活かせるよう努めている。	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	研修を受け学んでいる。虐待が見過ごされることがないように、お互いに努めている。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	社内研修で学んでいる。必要と思われる時には、施設代表者に相談している。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約内容、重要事項説明書で説明し、十分に読んで理解し、納得の上で押印して頂いている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	グループホームに鍵付きの意見箱を設置している。面会時に意見を拝聴し、運営に反映させている。	職員が手書きのお便りを出し、日常のひとコマや健康面を家族へ詳しく知らせ、コミュニケーションを図っている。面会時や、クリスマス会・寿を祝う会などの催しで共に楽しむ中、家族からの意見・要望を伺い、より良いサービスにつなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々の業務やミーティングで、職員の意見を聞いている。管理者は代表へ報告し、意見が反映されるように業務に取り組んでいる。職員が意見を出しやすいような、話し合いの場を持っている。	朝の申し送り時やミーティングで話し合い、勤務体制や清掃・食事作りの担当分担など、職員の意見を取り入れ決めている。職員からの意見を管理者会議で代表へ報告し、集約検討した結果、介護タクシーの手配やスタッフによる通院同行への対応が改善されるなど、ケアの質の向上に反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	各自の努力や実践を把握し、向上心を高める様に努めている。研修や勉強会の為の勤務調整を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	内部研修や外部研修を受けており、学んだことを報告書で提出している。各自、学んだことを職員に伝達し、共有している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	勉強会や研修会に参加し、同業者との交流を図り、情報を得ている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	本人と事前に十分な話し合いを持ち、相互訪問を行い、関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	家族と事前に十分な話し合いを持ち、家族の思いや要望に沿えるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	サービスの利用を開始する段階で、本人や家族と十分な話し合いを持っている。必要があれば他のサービスを説明し、紹介する場合もある。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	対話をしたり、食事を一緒に取る等、時間の共有をしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	月に1度、グループホームでの様子をお手紙で届けている。来所時には、本人とご家族が、ゆっくり話ができるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	理容院やかかりつけ医は、職員が付添い、馴染みの関係が継続できるよう努めている。	町内の婦人会員が持ち寄って、事業所へ届けたリユース品を活用したり、民生委員が様子を見に来て、利用者や職員と共に、庭の野菜の世話をするなど、地域の人たちと馴染みとなり、和やかな関係性を継続している。今後は、ボランティア受け入れも視野に入れてる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係を把握し、スムーズに対話できるように、職員が間に入ることで、関わりが持てている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院時は職員が面会に行き、相談を受けたりしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員の気づきや、家族、本人の希望をアセスメントを通し、整理し、把握に努めている。	日々のさりげない会話やふれあいの中で、個々のライフスタイルや意向を大切にしながら、思いを汲み取り、ケアに活かしている。アセスメントシートを簡素化し、更に分かりやすくまとめ、丁寧な個別ケアへつなげている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前面接を行い、本人や家族に、生活歴やこれまでの経過等を聞き、暮らしの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	心身状態を把握し、その方に合った過ごし方が支援できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人の言動や行動、家族との話など、ケアプランに役立てる様努めている。ケアマネが1か月ごとに、モニタリングを行っている。</p>	<p>各職員が全体を観ながら、センター方式のアセスメントシートを簡素化して、丁寧に記入し、プランに取り入れている。医師のケアカンファレンスシート他を加味しながら、介護計画を立案している。毎月、モニタリングを行い、4か月毎の見直しにより、日中の活動量が増え、夜間良く寝られるようになった例など、ケアの改善に繋がっている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の記録が一方的なものにならないように、利用者の様子とその時の気づきを記入し、ケアプランに活かすように努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>家族に泊まっていたり、利用者には付添い、外泊の支援をすることもある。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>近所の商店に買い物に出かけたり、地域の行事に参加している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居時にかかりつけ医を確認し、希望があれば、引き続き受診して頂いている。希望がなければ、グループホームのかかりつけ医をお願いしている。特別な検査や入院時が必要な時には、グループホームのかかりつけ医に適宜、紹介して頂いている。</p>	<p>かかりつけ医として週一回の内科、月一回の専門医療機関の訪問診療があり、看護師は常勤で、24時間体制での対応をしている。通院が必要な利用者には、職員が同行し、家族と情報を共有している。服薬管理や感染症対策などにも職員間で留意し、利用者の健康管理に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	介護職員は、自分たちが気づいたことや情報を看護師に伝え、異常の早期発見や受診につなげられるよう努力している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	利用者が入院した時には、毎日、面会に行き、洗濯物を届けたり、グループホームでの様子を伝えたりしている。入院の経過を聞きながら、早期の退院ができるように、努力している。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	入居時に終末期のあり方について、事業所としての考えをお話し、家族としての考えもお聴きしている。重度化した場合、再度、本人と家族の考えを聴き、医師や看護師とも協議し、チームで支援に取り組んでいる。	ターミナルケアについて、その都度、家族や関係者とよく話し合い、出来る限り個々の思いに沿った支援を行っている。この一年の間にも複数の看取りがあり、医療関係者のバックアップも含め、職員間のチームワークにより、最期までその人らしくすごせるよう、親身なケアがなされている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	さまざまな対応が出来る様に、内部研修を行い、実践力を身に付ける様努めている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	年2回の防災訓練を行っている。運営推進会議にて、協力体制について話し合っている。	地域住民と共に防災訓練を行い、避難経路の確認や防災備品の点検などを実施している。新たな認識として、地域への声掛け方法や、二階からの救出方法について、地域住民から貴重な意見を得るなど、今後の取り組みに活かす地域との協力体制が築かれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	常に利用者様と一緒にいる為、職員間で情報を共有するときは、不快感を感じないように、注意して会話をしている。大声や私語はしないように努めている。	利用者の傍で話しかける時には小声で、トイレ誘導や居室に入る時にも一声かけるなど、プライバシーの配慮に日々努めている。常に笑顔と優しさを忘れず、職員間でも、節度のある接し方を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	衣類の好みや飲み物の希望を聞いたり、選択できるものを用意し、自己決定できるような場面を作っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりの生活スタイルを職員が把握し、希望に沿った支援が出来る様に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎日、整髪している。定期的に訪問美容師さんや理髪店でカットして頂いている。誕生日や行事等では、お化粧品やスカーフ、ブローチなど、おしゃれを楽しんで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事のだし汁は、毎日、鰹節やいりこ等で取っている。利用者様と一緒に準備や盛り付けを行っている。	三食共職員による手作りで、配達された食材を使用し、利用者も野菜の皮むきや出汁に使うイリコの頭取り等を手伝いながら、一緒に味見をするなど、楽しい時間を設けている。お粥も出汁から作り、栄養や味に工夫したり、食器も食べやすい大きさの陶器製で手に持った時の温もりを大切にするなど、細やかな配慮がなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事や水分量は記録し、状態を把握できるようにしている。利用者様の状態に応じ、別メニューを用意できるようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアを行っている。できるだけご本人にしていただく様に、声掛けと見守りを行い、仕上げは介助している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄のパターンによって、トイレ誘導回数を多くしたり、経済的な面も考えた支援を行っている。	職員が利用者の排泄パターンを把握し、タイミングを見計らって、昼夜を問わずトイレ誘導している。布パンツ使用やリハビリパンツにパッド対応の利用者がほとんどで、トイレに座る習慣の大切さを認識し、自然な排便を促す支援をしている。廊下を一緒に歩いて筋力低下を防ぐなど、自立に向けたケアに取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便確認を毎日行っている。腹部マッサージを行ったり、起床時に牛乳を飲用し、身体を動かすことで排便を促している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	週3回は入浴して頂いている。15時～17時頃、体調を確認し行っている。身体の動きに合わせてリフトを使用し、安全に安心して入浴できるように努めている。	週三回、午後からの入浴を目安としているが、各々の希望になるべく合わせて、曜日や時間に拘わらず支援している。二階にはリフト浴の設備があり、利用者の安心・安全を図り、心身状況により、手浴、足浴、シャワー浴での対応をしている。入浴を嫌がる利用者にも、気分が変わるようなコミュニケーションを心がけ、清潔を保っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	利用者によっては、午睡の時間や休息の時間をとっている。安眠できるように、室温、寝具、衣類等の調整を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の効能書きをケースに綴じている。服薬時には職員が見守り、介助を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一人ひとりの力を活かして、盛り付け、洗濯たたみ等していただいている。季節の行事を一緒に楽しめるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天候や体調を見ながら、気分転換と健康維持の為、散歩に出かけている。	天気の良い日には近所を散歩したり、テラスや庭に出て、日光浴や気分転換をしている。散歩も各々の歩幅に合わせ、個別に対応したり、家族と共に釣りや野球観戦、外食ランチなど、個々の思いに沿った支援を心がけている。近くの桜並木の道は、馴染みの散歩コースとして、利用者・職員に親しまれている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	利用者様、ご家族からお金を預かる場合は、預り金ノートを作り、レシートを添付し、ご家族の来所時に印を頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	書き方ノートに名前や住所を書き、字を忘れない様になっている。携帯電話を持たれている方もいる。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	対面キッチンの為、食事の支度時の香りや音などから、生活感を感じることが出来る。窓から花が見えるように、プランターを置いている。	全体がバリアフリーで安全性に富み、広いリビングには足の伸ばせる大きなソファのほか家庭的な設えが施され、LED照明で明るさの調節をしながら、ゆったりと暮らせるよう工夫されている。庭の畑でトマト、茄子、サツマイモなどを、プランターではシクラメン、水仙、チューリップ等と一緒に育て楽しむ工夫をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングのテレビの見やすい場所にソファを置き、くつろぎの場所を作っている。テーブルは相性に配慮し、席を決めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご本人が使用されていたタンスや家族の写真、部屋に置いている。	各フロアーには、隣の部屋の間仕切りを取りはらい、ワンフロアーにできる居室があり、夫婦など共に暮らせる広いスペースとして、また面会時にも寛げる場所として有効に活用している。各々の懐かしい写真やお気に入りの品々に囲まれ、その人らしく落ち着いて過ごせるように、配慮している。	
55		○一人ひとりの方を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	段差がなく、バリアフリーで手すりがついている。リビングに洗面台が2か所あり、洗面、手洗い、口腔ケア等ご自分で出来る様に、環境づくりに努めている。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームよってきんさい矢賀

作成日 平成29年4月28日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の参加者に片寄りがある	家族の参加を促し、地域の方々とも交流して頂く	会議の日程を、ご家族に合わせる 参加の呼びかけを続ける	1年
2	35	災害時の避難対策が具体化されていない	災害時の安全な避難	具体的なマニュアルを作成する	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。